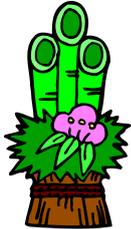


せいぶ

No.38 (2012年1月)

発行:上野西部地区住民自治協議会 総務.広報.人権部会
伊賀市上野福居町(上野西部公民館内)
<http://www.uenoseibu.com/>



年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

上野西部地区の皆様には 心も新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



旧年中は 上野西部地区住民自治協議会の諸行事に格別のご協力とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

グローバル化が進む中 世界では ギリシャ・イタリア等の金融不安のあらしが世界を巻き込もうとしています。我が国においても 東日本大震災・原発事故やタイの洪水の影響・円高等 日本の政治経済を大きく揺るがしております。

当地区におきましては 安心安全の上野西部地区を目指し 国のモデル事業である”安心生活創造事業”や市が行っている”災害時要援護者避難プラン”を進めてまいりました。又西部地区全体の防災訓練も実施致しました 今後も防災訓練等を通じて災害に備えてまいります。

新市庁舎・中心市街地活性化事業と 平成の改革に向けて邁進するなかで長年の懸案でありました駅前再開発ビル(ハイトピア伊賀)が3月末に完成します 地域としては これらを利用して平成の町づくりを推進してまいります。

激動の一年を迎える事になると思われませんが 無事乗り切り 《安心安全の西部地区》の実現に向け諸課題の解決実現に努力し 役員一同精一杯頑張っている所存でございますので 地区の方々の暖かいご鞭撻ご協力をお願い申し上げます。

ご多幸とご健勝をご祈念申し上げ挨拶といたします。

上野西部地区住民自治協議会 会長 八尾光祐

伊賀市との

平成23年度地区懇談会

平成23年12月18日19時30分より上野西部地区市民センターにて伊賀市との地区懇談会が開催され、伊賀市から市長ほか8名の方が出席しました。まず市長と八尾会長の挨拶の後、市長から市政報告があり、続いて西部地区からの懇談テーマについて懇談が行われました。主な報告・懇談の内容は下記の通りでした。

市政報告

(1) 市の財政運営

特に特例債について10年間で430億円の枠があり、合併後今まで7年間で180億円借り入れしている。政府は5年延長すると言っているが3割は返済の必要がある借金であるので事業の先送りは出来るだけ避ける方向でいきたいとの説明がありました。他、23年度財政の現状説明がありました。

(2) 医療問題

市民病院の厳しい状況説明と、期末に向けて常勤医師の確保に何とか努力していきたいとの説明がありました。

(3) 中心市街地の活性化の推進

(4) 農林業施策

(5) 協働のしくみづくり

懇談（地区からの懇談テーマについて）

八尾会長のテーマ説明の後、伊賀市から次の通り説明がありました。

(1) 中心市街地活性化事業の進捗について

- ・ハイトピア伊賀の完成割合は現在60%程度。テナントは6区画程度がまだ未定。その他、道路の美装化、赤井邸の改修、ふたば公園などについて。
- ・伊賀鉄道について、年間3億円余りの赤字があり、この状態が続く場合、近鉄の対応次第では29年以降の存続が懸念される。

主な質問

問 合併特例債の7割は交付税で帰ってきますか。又それはチェックしていますか。

答 交付税で帰ってきます。チェックしています。

問 過去の都市計画税の用途について、旧町部の住民が税金の大部分を負担していたと思うがそのお金は本当に負担した住民の為に使われたのか。

答 苦しい返事ですが、今中心市街地活性化の事業でお返ししていると考えて欲しい。

(2) 市街地における市庁舎の問題について

現在地で全面改築の方針で取り組んでいるとの説明があり、その後、液状化や文化財としての価値等に関して質問があり、市より返答・説明がありました。



懇談会の様子

スケート教室開催します
1月22日

詳細と申込は1月13日チラシで
健康・福祉・スポーツ部会